事例No.	1499
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	静岡県掛川市

事例区分	行政改革

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・公共施設活用

事例種類	ＩＣＴの活用

事例内容・タイトル

支所等の施設を活用したサテライトオフィスの設置

出典

地方公共団体における
テレワーク推進のための
手引き
令

7　静岡県掛川市　～支所等の施設を活用したサテライトオフィスの設置～

合併した町村の旧庁舎だった施設の空き会議室を活用してサテライトオフィスを整備した結果、移動時間の削減や効率的な業務遂行、職員のワーク・ライフ・バランスの実現につながっている。空いている PC や会議室の有効活用により、大きな経費をかけず、短期間での導入を実現。

取組経緯

- 市長からの提案により、働き方改革の一環として、平成 29 年度に時差勤務と合わせて、テレワークの実証実験を行った。約半年間のトライアルでは、IT 部署と連携しながら既存のシステムで実施できる仕組みを模索し、平成 30 年度に本格導入に至った。
- トライアルの段階から、在宅勤務に加え、サテライトオフィス勤務の検証も行った。サテライトオフィスは、**合併した町村の旧庁舎だった施設の空き会議室**（大東支所、大須賀支所）を活用し、本庁及び2支所の計3箇所に設置した。

取組内容

➢ **サテライトオフィス（本庁、大東支所、大須賀支所）での機器・ネットワーク環境、利用の流れ**

- 本庁及び大東支所、大須賀支所ともに、空き会議室を活用している。また**空き PC を活用し、それぞれ貸出端末を設置**しており、大東支所は無線 LAN、大須賀支所は有線 LAN により庁内ネットワークに接続が可能。**自席と同じネットワーク環境が整備**されている。
- 会議室には専用の電話を設置している。プリンターの設置はなく、印刷が必要な場合は、本庁、各支所のプリンターを使用する。
- テレワークを希望する際は、「テレワーク申出書兼報告書」の申出欄に記入後、前日までに所属長に提出し、承認を得る。なお、令和3年1月より、庶務事務システムを導入したことにより、電子決裁にて申請が可能となっている。
- サテライトオフィスを利用する場合は、システム上で事前に PC 端末の予約状況を確認する。サテライトオフィス勤務当日は、勤務の開始と終了時に所属長に電話又はメールで報告を行う。また業務終了後は、「テレワーク申出書兼報告書」の報告欄に記入し、所属長に提出する。

取組を進める上での工夫

- 予算を確保していない中での実証実験だったが、IT 部署と連携して、現在のシステムで信頼性が確保できることを確認することができた。また空いている PC や会議室の有効活用により、**大きな経費を支出することなく本格導入に至った**ことが、短期間のテレワークに導入につながった。
- 町村合併により南北に長い地形となり、通勤時間負担が増加した一部の職員や、介護や子育てとの両立を図る職員等が、サテライトオフィスを利用している傾向がある。また、南部地域に午前と午後に現地確認等の業務予定がある場合、その**すき間時間を活用**してサテライトオフィスで報告書を作成、提出する、という利用も見られる。なお在宅勤務同様、サテライトオフィス勤務もワーク・ライフ・バランス等、柔軟な働き方が可能である。

成果

- 自宅近くのサテライトオフィスの活用による**通勤時間の削減**や、外出先近くのサテライトオフィスの活用による、本庁に戻る**移動負担の削減や効率的な業務遂行**が可能となった。これまでのサテライトオフィス勤務の延べ利用回数は 30 回程度である。
- サテライトオフィスでは空き施設を活用したり、オフィスに設置する PC も空いているものを有効活用することで、**経費面も抑えることが可能**である。

推進のポイント



時差勤務とあわせた柔軟な働き方として、在宅勤務とともに**サテライトオフィス勤務の利用者拡大**を図りたい。今後とも全庁に周知を図っていく方針である。